

巻頭インタビュー

新しい世界への扉を開くために… 英語イマージョン教育の可能性



アルク バリッシュ さん

トルコ共和国出身
学校法人ホライゾン学園仙台校 代表



←小学校完成予想図

—ご出身は、トルコのどちらですか。

私は、トルコ西端、エーゲ海に面したイズミールという町の出身です。イズミールからは、エーゲ海諸島行き定期船も出航していて、エーゲ海の香り漂う美しい町です。

—アルクさんはとても日本語が堪能でいらっしゃいますが、来日のきっかけはどのようなことだったのですか？

大学に入った頃から大学院は海外でという希望をもっていたのですが、たまたま日本政府の奨学金制度を知り、1999年4月、国費留学生として東京大学大学院工学研究科修士課程に入学する機会を得ました。専門は、電子情報工学です。当時、トルコからは毎年13人の国費留学生が日本全国の大学に留学しておりました。来日時、日本語はまったく話せませんでしたが、東京大学の日本語コースで半年間学び、その後は独学で身に付けました。

—電子情報工学を専門とするアルクさんが、なぜ異分野ともいえる英語教育に携わるようになったのでしょうか？

トルコでも英語教育は日本の公教育と同じような形でなされていますので、使える英語がなかなか身に付きません。ですから、多くのトルコ人は日本人同様、英語に苦手意識があります。でも、幸いに私の場合、理科と数学の授業はすべて英語で受ける、つまり英語イマージョン教育を取り入れた国立の中学校で学ぶことができました。このような経験から、私自身が母語以外の言語を身に付ける楽しさを知っていたので、東大在学中に起業家の友人と共に日本でのインターナショナルスクールの開校というプロジェクトを立ち上げるに至りました。2003年に開校した当学園の横浜校は、幼稚園から高等部まで完備しているのですが、私はその法人設立から関わっております。

—震災後の2012年4月に英語イマージョン教育を行う幼稚園が開園しましたね。以前、国際リニアコライダ―誘致準備の一環で、岩手県庁職員など40名ほどが幼稚園視察をした折、日本人の子ども達が入園後数か月で生き生きと英語を話している姿に、みんな圧倒されていました。単に英語が話せる、というだけでなくもっと根本的なところでコミュニケーション能力も高いような気がしたのですが。

そうですね。当園の子ども達は、同年代の子ども達と比べると元気がいい方だと思います。それは、自主的に考えさせる、質問させることを重視し、正解を求めるよりも自分の考えを声に出して言える、を基本に指導することで、自分が周囲にちゃんと認められているという自尊感情が育てられているか

らなのではないかと思います。保護者の方たちも、英語を話すことに臆することのない子どもにしたいというだけでなく、のびのびと個性を伸ばせる教育環境に期待されているようです。また、当園の教師の国籍も現在アメリカ、カナダ、トルコ、フィリピン、日本と多様です。この多様性を特別なことではなく自然なこととして受容するということも、子どもたちのコミュニケーション能力の向上とグローバル化につながるポイントになっていると考えています。

—日本では、いま公立小学校での英語教育導入の準備が進みつつありますが、この流れをどうぞ覧になっていますか。

厳しい意見かとは思いますが、せいぜい週に1、2時間程度の枠しか取れないという厳しい条件のなかで、大きな成果を期待することは難しいと思われます。日本の子ども達に本当に英語を身に付けさせたいと思うのであれば、授業としての英語に加えて、一部の教科の授業を英語とするのが効果的であると考えます。つまり英語イマージョン教育です。仙台は幼稚園までは比較的英語イマージョン教育の環境が整っています。でも、それを引き継ぐ小学校以上の教育機関がありません。一方で、日本の子ども達にとっては、みんなが英語を話す必要性に迫られているわけでもなく、また、指導者養成も追いついていない現状で公教育における英語教育には限界があるといわざるをえません。であれば、多様な選択肢の一つとして、私立の英語イマージョン教育機関があってもよいのではないのでしょうか。

—そのような思いもあって、現在、私たちは平成28年4月の開校を目指し、小学校開校の準備を進めています。

—アルクさんが、それほどまでに英語教育に熱い思いを傾ける理由は为什么呢？

私が今後も関わっていききたいのは「グローバルな人材の育成」で、言語教育・英語教育はその実現に必要な一つの要素です。言語は、英語に限らずどんな言語でもそれを道具にできることで、自分の世界がぐんと広がります。私自身、中学時代に身に付けた英語、そして留学を機に身に付けた日本語で、自分の世界が大きく開けました。言語は、新しい世界へ繋がる扉と言ってもよいでしょう。このような自分自身の経験を基に、縁あって暮らすことになったこの国、日本の子ども達の可能性をもっともっと広げるため、地球上でコミュニケーションツールとして一番汎用性が高い英語の教育環境を向上させ、グローバルな人材の育成に貢献したいと考えています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2015年2月～3月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2015	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14		8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21		15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28	
									29	30	31					

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

2月 FEBRUARY

1月31日

総会・新春の集い

- 大河原日中友好協会
- 大河原町内和洋亭ぶざん
- 13:00～
- 新春の集いには留学生10名を招待
- FAX 0224-52-6606

2月・3月 毎週日曜日と祝日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要、現地で直接
- 拝観料700円は各自負担
- FAX 022-354-3678 (大浦)
- hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

3日

平成26年度宮城県市町村国際交流協会連絡協議会「国際交流イベントの活性化の鍵 留学生とのパイプを太くする懇談会」

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- エルソーラ仙台大研修室(AERビル28階)
- 13:30～15:30
- 電話、FAX、メール
- 無料
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://mia-miyagi.jp/

7日

クレーブパーティー

- アリانس・フランセーズ仙台
- アリانس・フランセーズ仙台
- 13:00～15:00
- 必須
- 会員2,000円、非会員2,500円、子ども等1,500円
- 022-225-1475
- FAX 022-225-1407
- contact@alliancefrancaise-sendai.org
- http://www.alliancefrancaise-sendai.org

異文化理解講座

「世界をのぞけば…」エチオピア編

- 山形県国際交流協会(AIRY)、JICA東北
- 山形県国際交流センター研修室
- 14:00～15:30
- 山形県国際交流協会(AIRY)Webサイトから、またはメール、電話
- 無料
- 023-647-2560
- FAX 023-646-8860
- info@airyamagata.org
- http://www.airyamagata.org/

8日

宮城華僑華人連合会設立レセプションパーティ

- 宮城華僑華人連合会
- パレスへいあん3階グレース
- 12:00～14:00(受付11:00～)
- 電話、FAX、メール
- 5,000円
- FAX 022-341-2440
- miyahqhr@yahoo.co.jp
- http://www.facebook.com/miyagichinese

研修会「漢字は おもしろい! 一こんな工夫をすると、漢字が苦手な子どもたちが楽しく学べる」

- 外国人の子ども・サポートの会
- 生涯学習支援センター 第2セミナー室(仙台駅東口 パルシティ 4F)
- 10:00～16:00
- 1月31日(土)まで
- 500円
- FAX 022-375-5639
- jets@sda.att.ne.jp
- http://kodomosupport.jimdo.com/

国際理解教育セミナーin弘前

チョコレートから世界を見てみよう

- JICA東北支部
- 弘前文化センター 1階 会議室
- 13:00～16:00
- メールもしくはFAXに①お名前②学校名または③職業④連絡先を明記し申込
- 無料
- 017-735-2249
- FAX 017-735-2252
- jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp
- http://www.jica.go.jp/tohoku/

10日

イスラム圏からの観光客おもてなしセミナー～イスラム圏の文化・習慣を学ぼう～

- (公財)仙台観光コンベンション協会/(公財)仙台国際交流協会
- KKRホテル仙台(仙台市青葉区錦町1-8-17)
- 14:00～16:00
- ①名前、②連絡先、③所属(あれば)を下記電話、FAX、メールで
- 無料
- 022-265-2480
- FAX 022-261-0611
- plan2@sira.or.jp
- http://www.sira.or.jp/japanese/

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所 4階市民相談会会場
- 13:00～16:00
- 電話受付または予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768

FAX 022-261-0610

19日

【台湾交流セミナー】深い台湾 痛気持ちいい足裏マッサージ!

- 仙台湾朋友会
- 仙台市民活動サポートセンター 3階 研修室1
- 19:30～21:30(19時開場)
- http://kokucheese.com/event/index/249822/
- 1000円
- 022-243-6534(足裏堂)
- sendai.taiwan.houyuukai@gmail.com
- http://sendai-taiwan.jimdo.com/

軍事性暴力の世界史とアフリカ

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター 研修室
- 10:00～12:00
- 不要
- 700円
- FAX 022-362-7907

22日

Art museum WZ kimono 着物で美術館

- 伊達着物寮
- 福島美術館
- 11:00～
- メール、電話
- 300円(美術館主催の紋切り遊びワークショップ参加)/着物着付けレンタル2000円
- 090-2849-3699
- umeluv88@gmail.com
- http://umeluv.digi2.jp/umeluv_home.html

3月 MARCH

8日

MIA日本語ボランティアセミナー

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 仙台市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
- 13:00～16:00
- 電話、FAX、メール(定員60名)
- 無料
- FAX ※2月3日に同じ

14日

松島日本語教室まつり

- 松島日本語教室
- 松島町文化観光交流館研修室
- 13:00～17:00
- 不要
- 300円
- FAX 022-354-3178
- miemieono@gmail.com

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラムほか

14～18日

「東北おもてなしセンター」～生け花体験～
 仙台市博物館1階ロビー
 10:00～19:00

14日

3.11被災地に暮らす外国人住民の声
 公益財団法人宮城県国際化協会
 東京エレクトロンホール宮城(宮城県会館)401中会議室
 10:00～11:45(開場9:30)
 不要、定員100名
 無料
 ※2月3日に同じ

世界とつながる教室～教師海外研修事業報告～

JICA東北
 仙台市民会館 会議室2
 12:00～14:00
 席数に限りがあるので、事前申込み推奨(電話、FAX、メール)
 022-223-4772
 022-227-3090
 thictpp@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

15日

多文化防災フォーラム
 ～外国人市民と一緒に地域防災を考えよう～
 公益財団法人仙台国際交流協会、仙台市
 TKPガーデンシティ仙台勾当台ホール6
 10:00～11:40(受付9:30～)
 ①名前、②連絡先、③所属(あれば)を下記の電話、FAX、メールで
 無料
 022-265-2480
 022-261-0611
 a-kikuchi@sira.or.jp
<http://www.sira.or.jp/japanese/>

世界とつながり、変わるわが町、わが地域

JICA東北
 東京エレクトロンホール宮城 602中会議室
 10:00～11:30
 席数に限りがあるので、事前申込み推奨(電

話、FAX、メール)
 022-223-5151
 022-227-3090
 jicathic@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

東北・若手企業家発アジアとの協働による新しい社会モデルを目指して

JICA東北
 東京エレクトロンホール宮城 602中会議室
 12:30～14:00
 席数に限りがあるので、事前申込み推奨(電話、FAX、メール)
 022-223-5151
 022-227-3090
 jicathic@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

復興・地域づくりを支える人材～つながりを運ぶ人～

JICA東北
 東京エレクトロンホール宮城 602中会議室
 15:00～17:00
 席数に限りがあるので、事前申込み推奨(電話、FAX、メール)
 022-223-5152
 022-227-3090
 jicathic@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

16日

講演会「東日本大震災からの産業の復興・復興、そして未来へ」
 仙台商工会議所
 仙台市民会館大ホール
 15:00～16:30(14:30開場)
 仙台商工会議所HPにて申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
 無料
 022-265-8182
 022-217-1551
 info@sendaicci.or.jp
<http://www.sendaicci.or.jp/>

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会
 宮城県行政書士会
 ※2月18日に同じ

21日

国際協力セミナー
 JICA東北、公益財団法人宮城県国際化協会
 仙台市民活動サポートセンター
 6階セミナーホール
 13:30～16:00
 電話・メール
 無料
 022-275-5540
 jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

29日

オープンキャンパス
 アリانس・フランセーズ仙台
 アリانس・フランセーズ仙台
 未定
 必須
 無料
 022-225-1475
 022-225-1407
 contact@alliancefrancaise-sendai.org
<http://www.alliancefrancaise-sendai.org>

3月末開催予定

フランス語圏まつり
 アリانس・フランセーズ仙台
 アリانس・フランセーズ仙台
 未定
 不要
 無料
 022-225-1475
 022-225-1407
 contact@alliancefrancaise-sendai.org
<http://www.alliancefrancaise-sendai.org>



※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>
 JICA宮城デスクからのお知らせ

国際協力セミナー「^{おげんだい}ベトナムと宮城 ^{あした}∞なる未来を語ろう!

～多様なパートナーシップの可能性を探る～開催のお知らせ

- 実施日 3月21日(土・祝)13:30-16:00
- 場所 仙台市民活動サポートセンター6階セミナーホール
- 主催 JICA東北、宮城県国際化協会
- 入場無料ですが、事前のお申し込みが必要です。(定員50名)
- 内容

ベトナムが、今、熱い!日本とASEAN諸国との連携が強化される中、特にベトナムとの関係が人々の注目を集めています。宮城県でも、震災後はベトナムからの留学生や技能実習生が急増しています。今年の国際協力セミナーでは、そんなベトナムにスポットを当て、企業進出や青年交流など様々な分野でベトナムとの交流を推進している方々をパネリストにお迎えし、本県とベトナムとの連携

の可能性を探ってゆきます。

ベトナムコーヒーの試飲もあります。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。

※なお、内容につきましては、予告なく変更させていただく場合がございます。

- 問い合わせ・申し込み先 JICA宮城デスク
 TEL 022-275-5540
 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp
 JICA東北ホームページ
<http://www.jica.go.jp/tohoku/>

MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
 いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。



第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム《3.11被災地に暮らす外国人住民の声》

国連防災世界会議が3月に仙台で行われますが、本体会議と並行して「パブリックフォーラム」と呼ばれる一般市民向けの防災に関する各種シンポジウム、セミナー、展示などが行われます。当協会のシンポジウムでは、外国人は災害弱者、要援護者という

側面ばかりが強調されがちな風潮があるなか、実際はどうだったのか、支援者の側に回った外国人住民の声をお届けしたいと考えています。みなさまのご来場をお待ちしています。



- 日時：2015年3月14日(土) 10:00~11:45(9:30から受付)
- 場所：東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館) 401中会議室
- 参加：無料(定員100名)
※事前申し込み不要ですが、お早めにご来場ください。
- 登壇者：オーストラリア出身者(多賀城市在住)、イギリス出身者(石巻市在住)、フィリピン出身者(気仙沼市在住)、韓国出身者(石巻市在住)、中国出身者(仙台市泉区在住)
※英語の逐次通訳が付きま。

MIA日本語ボランティアセミナー

このセミナーは、地域の日本語教室等での支援のあり方について考えること、また、参加者同士の意見交換・情報交換を通して相互の連携を図ることにより、それぞれの活動をより良いものとしていただくことを目的として開催するものです。ご関心のある方、是非ご参加ください。

- 日時：2015年3月8日(日) 13:00~16:00
- 場所：仙台市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
- 主催：宮城県国際化協会(MIA)
- プログラム
 - 講義
「教室活動を再考する～実生活と結びついた日本語学習支援を目指して～」
- 講師 品田潤子さん(公益社団法人国際日本語普及協会)

みなさんはどのような方法で学習者の日本語学習のお手伝いをしていますか?教科書を使う、学習者の希望を聞いて毎回決める、など、さまざまなアプローチが考えられますが、そうした支援のあり方について一度見つめ直し、これからよりよい活動を目指すためにはどうすればいいか、考えてみませんか?

- 懇談会
お茶とお菓子を囲んで、他の支援者の方々との情報交換、ネットワークづくりをしませんか。
- 参加費：無料
- 定員：定員60名(要申込み)



昨年度 同セミナーの様子

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

多文化子育て支援ガイドブック『日本語でつたえるコツ』

発行:社会福祉法人 大阪ボランティア協会

本書は、行政の母子保健窓口、幼稚園、保育所等の子育て支援の現場で活動している人たちに向けに、外国人親子との意思疎通をする際に役立つさまざまなヒントを集めたものです。

保育所等で外国人親子とのコミュニケーションで問題となった事例や、わかりやすい日本語で話す・書くための具体的な手法など、子育て支援の分野以外、例えば日本語学習支援に携わる方にも大変参考になる内容となっています。

発行元の大阪ボランティア協会のウェブサイトからPDFファイルをダウンロードすることもできます。

<http://www.osakavol.org/08/multicultural/guidebook.html>



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
◎本協会の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.77

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL <http://mia-miyagi.jp/>

